

神奈川山梨教会連合会だより

# かりん

## 新連合会長あいさつ

連合会長 福田 光 一



平成十九年度末を持ちまして、前任者の須賀院明徳師には、三年間の任期を終えられまして、連合会活動にご尽力賜り誠に有り難いこととございます。厚く御礼を申し上げます。

昨年十月十六日教会連合会長選挙が行われ、後任者として、私が皆様のご推薦を頂きまして御用をさせて頂くことになりましたので、どうぞ宜しくお願い致します。つきましては、副会長に南清孝師(代行・登戸教会)、奥川美智雄師(平塚教会)を指名させて頂きました。

さて、今年は首都圏布教百二十年というお年柄、平成二十一年は立教百五十年、平成二十二年には教団独立百十年と、お年柄の続く期間に連合会長の御用を受けること

になり、心して取り組ませて頂きたいと思えます。

様々な難儀をかかえた現代社会にあって、教団においても、教会においても、このままで良い訳がありません。この時こそ、教団、連合会、教会そして個々が「人を助けずにはおられない」という教祖様の信心を改めて頂き、実践して行く時であります。そのためにも、今までの固定観念にとらわれず、「何事も釘付けではない」との如く、他の長所を取り入れ、自らの短所を補う精神で進んで参りたいと思えます。

連合会活動としましては、こうしたお年柄の意義を受けまして、祈り推進運動の実践、人材の育成、教信徒一体の布教活動などを中心に、信心の継承に重点を置いた教会、教師、信徒の助かり立ち行きに、皆で力を合わせて取り組んで行きたいと思えます。

運営委員会においては、基本方針、活動方針に基づき、出来る限り分かり易く、教会への情報伝達やホームページの活用をしながら活動を進めて参りたいと願っております。

特に、関東教区信徒会一泊研修会(六月二十八日(土)二十九日(日))は神奈川山梨教会連合会が当番としてお世話することになりましたので、多くの信奉者の方に呼び掛けて参りたいと思えます。又、例年開催し

ております「親子のつどい」では、地引網を計画し、「女性のつどい」では、教会の枠を超えて親睦・交流を進めて参りたいと思えます。さらには、教師部、信徒部に分かれての自主活動を進めて頂くようお願いしております。

役割分担の上にも、今迄の組織に基づき(別紙)、この部署なら御用をしてみたいと思われまます方がおられましたら、積極的にご参加頂ければ有り難いと思えます。どうぞ、三年間の任期、ご理解ご協力のほど、お願いいたします。

## 首都圏布教120年・記念集会

とき 平成20年7月20日(日)

午後1時より

ところ J R京浜東北線

東急大井町線

『大井町駅』下車

きゅりあん大ホール

プログラム

- ① 首都圏布教の歴史と現状などを映像化したもの鑑賞
- ② 祈りの実践を集約したものの発表
- ③ 作家・小川洋子氏のトーク (対談形式)
- ④ 金光大阪高校の吹奏楽演奏

集会後には、同じ建物の6階にある大会議室で『祝賀会』も予定されております。

### 平成20年度総会開かれる

1月26日(土)、午後1時30分から神奈川教会に於いて、「神奈川山梨教会連合会総会」(総合司会・南清孝師)が開催され、ご祈念(奥川美智雄師)の後、福田光一連合会長より「昨年10月16日教会連合会長選挙を受けまして、須賀院師の後を受け継ぐことになりましたが、多くの方のお力をお借りしながら、お年柄であります首都圏一二〇年、明年の立教一五〇年に向けて、改めて教祖様のご信心を頂き、教師信徒が一体となつての布教活動を進めて参りたい」との新任の挨拶があり、議長に横山光雄師(丸子)が



選出されて、議案  
①平成19年度事業報告。  
②平成19年度決算報告。  
③平成20年度事業計画案。  
④平成20年度予算案。が議事として

あり、全て原案通り承認されました。その他の項では、組織・人事の了解。信徒部会からの報告、連絡事項が行われ、閉会されました。

#### 教師・信徒

- |        |              |
|--------|--------------|
| 小田原教会  | 宮川 優子・辻 秀志   |
| 神奈川教会  | 福田光一・大塚 東子   |
| 横須賀教会  | 木本紀義・花田 律生   |
| 藤沢教会   | 高橋 健雄・堀 端 肇  |
| 野毛教会   | 鈴木重光・鈴木 弘    |
| 鎌倉教会   | 小西 貞代・吉岡 裕子  |
| 津久井教会  | 小星 重治        |
| 鶴見教会   | 桜井君江・芳村 享映   |
| 平塚教会   | 奥川美智雄・熊坂 和枝  |
| 川崎教会   | 藤田一文         |
| 登戸教会   | 南 清孝・小野 恒裕   |
| 生麦教会   | 今村 國広・高橋 正一  |
| 横浜西教会  | 山田 尚子・鈴木 光政  |
| 子安教会   | 村田 光治・入鹿 健策  |
| 丸子教会   | 横山光雄・村田 健夫   |
| 大磯教会   | 菅原ミノリ・小島 米夫  |
| 武蔵小杉教会 | 須賀院明德・佐藤 由美  |
| 相模原教会  | 安達 幸則・山田 光治  |
| 甲府教会   | 牧野 真幸・澤登 昭胤  |
| 大明教会   | 川 込 光貴・桜林 繁夫 |
| 南甲府教会  | 福田 俊雄        |
- 教師出席16名・委任3名・欠席1名  
信徒出席10名・委任8名・欠席2名

#### 【連合会内の動向】

- ・ 教会長就任、他について
  - ・ 安達幸則師が、昨年7月27日付で、相模原教会長に就任されました。
  - ・ 宮川優子師が昨年10月2日付で教師を拝命され、10月16日付で小田原教会長に就任されました。
  - ・ 神奈川教会長福田俊雄師が昨年10月31日付で、南甲府教会の兼務教会長に就任されました。
- よって、南甲府教会福田光一師が代務者を退任され、11月28日付で神奈川教会の在籍教師となりました。

### 御本部祭典日程表

天地金乃神大祭	3月30日(日) 午前
	4月3日(木) 午後
	6日(日) 午後
	10日(木) 午後
教団独立記念祭	6月8日(日) 午後
生神金光大神大祭	9月28日(日) 午前
	10月2日(木) 午後
	5日(日) 午後
	10日(金) 午後
布教功労者報徳祭	12月14日(日) 午後
立教一五〇年生神金光大神大祭	21年10月4日(日) 午前
	7日(水) 午後
	10日(土) 午後
	12日(月) 午後

# 平成二十年度 神奈川山梨教会連合会事業計画

## ◆ 基本方針 ◆

お年柄の意義を受け、金光大神の信心を求め現す

## ◆ 活動方針 ◆

1. 首都圏布教120年を迎え、祈り推進運動の実践
2. 立教150年に向け、改めて教祖様の信心を頂く
3. 人の助かる人材の育成
4. 教師信徒一体となつての布教活動の推進

### 1. 総会

日時 平成20年1月26日(土)  
13時30分～15時30分

会場 神奈川教会

議事 平成19年度事業報告・決算報告  
平成20年度事業計画・予算審議・  
新役員紹介・その他

### 2. 運営委員会

日時 2月26日(火)、6月4日(水)、  
8月28日(木)、12月4日(木)に開催

### 3. 教師信徒一泊研修会

関東教区信徒会一泊研修会に参加。  
日時 6月28日(土)～29日(日)  
会場 ホテル コーヨー

(研修会場・懇親会・宿泊20名)

フレッサイン相鉄(宿泊60名)

講師 今岡多美江師(京都府・中立売教会)

### 4. ホームページ

活用と展開

### 5. 地域活動

集会、講演会に向けての取り組み  
(2010年の開催を目指して)

### 6. 連合会だより

『かりん』の発行、年4回  
(2・4・7・10月)各800部発行

### 7. 社会活動

災害救援活動への対応  
各種収集活動の実践

### 8. 親子のつどい

地引網と海岸清掃を通して、世代を超えた交流を図る。今年度は節年を迎え、他連合会への働き掛けも行い、連合会を超えた交流も図ってゆく。

日時 9月6日(土)または15日(月・祝)  
会場 三浦海岸

### 9. 女性のつどい

教会の枠を超えた親睦と交流を図る。  
今年度は、歌を通して交流を深める。

日時 9月4日(木)  
会場 藤沢教会

講師 井上祐子氏(藤沢教会)

### 10. 教師部

教会布教の充実活性に向けて研鑽を進める。首都圏布教120年の意義について理解を深めると共に、今日求められる信奉者像を明らかにする。

①教師会の開催(5回、うち1回は教話講師会)  
日時 2月14日(木)、4月14日(火)(教話講師会)、6月5日(木)、8月14日(木)、12月16日(火)

②交流教話の実施(6月～8月に実施)  
③教師家庭婦人の会の開催

### 11. 信徒部

①関東教区信徒会一泊研修会の実施

②講話と夕食の会

③地域交流会(野毛教会主催のピクニックへの参加などを予定)

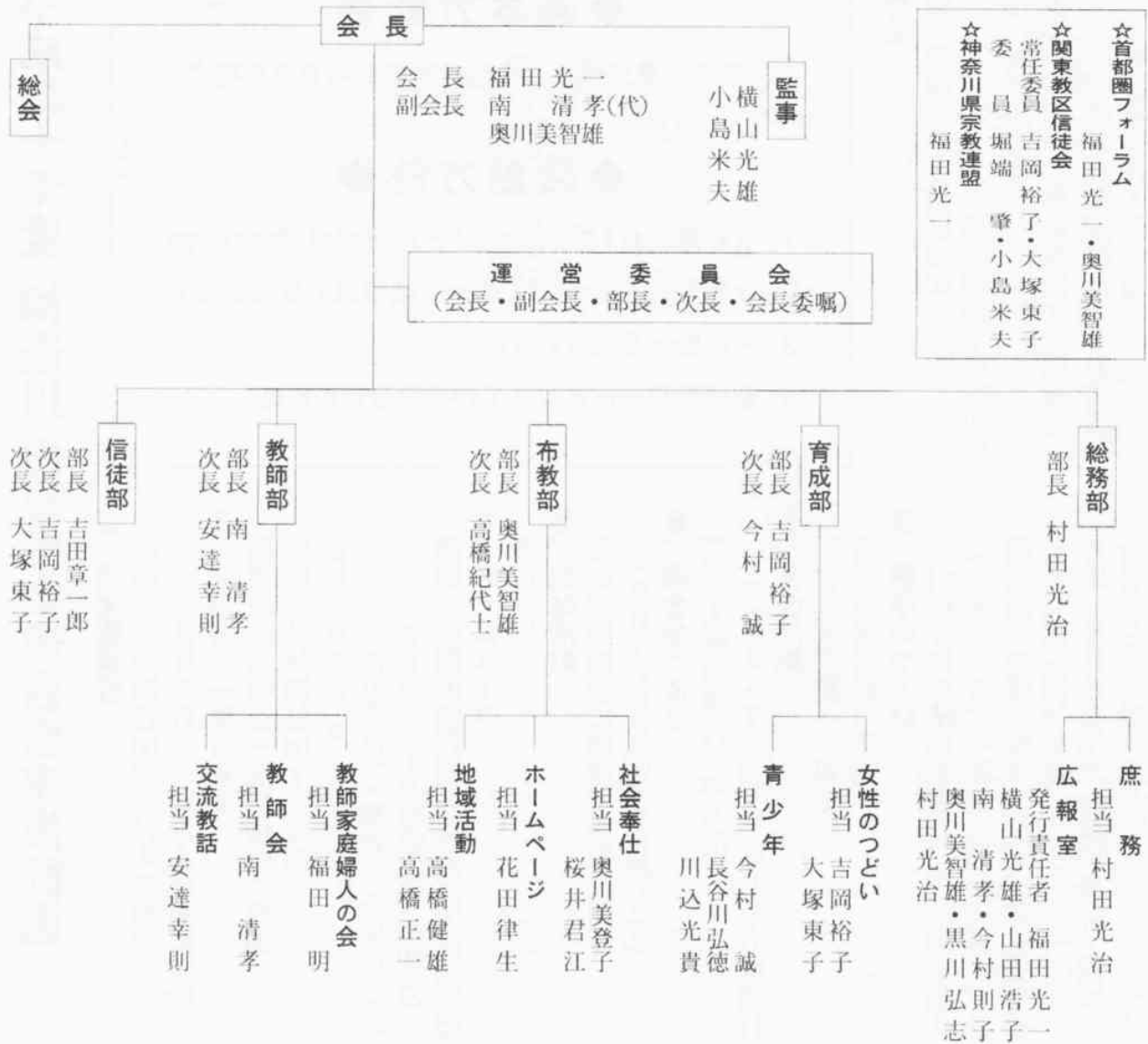
④役員会の開催

### 12. 首都圏フォーラム活動

フォーラム活動への協力と120年記念集会への参加

### 13. 神奈川県宗教連盟活動

# 平成20(2008)年度 金光教神奈川山梨教会連合会 組織図



☆首都圏フォーラム  
福田光一・奥川美智雄

☆関東教区信徒会  
常任委員 吉岡裕子・大塚東子  
委員 堀端 肇・小島米夫

☆神奈川県宗教連盟  
福田光一

## 〈な・が・れ〉

### 『東京布教の中の横浜』

登戸教会 南 清 孝

今年、首都圏布教一三〇年を迎えた。金光四神様から「ハヤカヤルガヨロシ」との言葉を神命と拝受し、青年畑徳三郎先生が、神戸港から船に乗り横浜港に上陸、そして東京に足を踏み入れたのは、明治二十一年三月二十五日のことである。

畑先生は、「天下の明教」として、国家に正しい宗教として認めてもらい、一教団として独立することが大きな願いであった。

このような状況下において、東京布教が開始されて三年後の明治二十四年、横浜布教が開始された。当時三重県上野で布教に従事していた近藤伊三郎先生が一信徒の懇望により、横浜市山田町で取次に従事する。しかし、間もなくして畑先生が訪れ、「この横浜は、東京の手で布教したい」と申し出た。近藤先生はその要請を受入れ、三重県上野に引き上げられた。

つまり、自由に布教することが許されないう時代が東京布教にあった。畑先生が望まれた人でなければ布教が出来ず、管理体制の中での布教であった。

金光教神奈川山梨教会連合会  
発行責任者 福田 光 一  
横浜市神奈川区青木町六一二十五  
〒221-0053 金光教神奈川教会内